

■著者紹介

亀井克之 (かめい かつゆき)

関西大学社会安全学部 教授
日本リスクマネジメント学会 理事長

1962年 大阪府生まれ
1990年 大阪外国語大学大学院 修士課程フランス語学専攻修了
1997～1998年 フランス政府給費留学生としてエクス・マルセイユ第三大学 IAE（企業経営研究院）に留学し DEA（経営学）取得
2002年 大阪市立大学大学院 博士（商学）

【主要著書】

『新版フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント』（法律文化社，2001年）（日本リスクマネジメント学会賞，渋沢・クローデル賞 ルイ・ヴィトン ジャパン特別賞）
『基本リスクマネジメント用語辞典』（編著）（同文館出版，2004年）
『経営者とリスクテイクング』（関西大学出版部，2005年）
『ワイン・ウォーズ：モンダヴィ事件』（トレス著，訳書）（関西大学出版部，2009年）
『ソーシャル・リスクマネジメント論』（共著）（同文館出版，2012年）
『危機管理とリーダーシップ』（共著）（同文館出版，2013年）
『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』（共著）（関西大学出版部，2014年）
『現代リスクマネジメントの基礎理論と事例』（法律文化社，2014年）
『経営学とリスクマネジメントを学ぶ：生活から経営戦略まで』（法律文化社，2014年）
『新たなリスクと中小企業：日仏シンポジウムの記録』（編著）（関西大学出版部，2016年）
『日本的リスクマネジメント理論の現代的意義—亀井利明最終講演の記録—』（共著）（関西大学出版部，2016年）
『市民マラソンがスポーツ文化を変えた』（共著）（関西大学出版部，2017年）
『決断力にみるリスクマネジメント』（ミネルヴァ書房，2017年）
関西大学社会安全学部編『社会安全学入門』（ミネルヴァ書房，2018年）第11章「リスクマネジメント」，第13章「クライシスマネジメント」
Risk Management — Basic Theory and Case —（Kansai University Press，2019）
『続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた』（共著）（関西大学出版部，2020年）
上田和勇編『復元力と幸福経営を生むリスクマネジメント』（同文館出版，2021年）第1章「現代企業におけるリスク情報の開示の意義」
『日英仏 日本拳法の基本習得教書—日本拳法に学ぶリスクマネジメント』（関西大学出版部，2021年）
『フランス映画に学ぶリスクマネジメント—人生の岐路と決断』（共著）（ミネルヴァ書房，2022年）
関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』（ミネルヴァ書房，2022年）第10章「企業への影響対策」（共著）
『日仏対訳 フランス医療機関におけるアート アートとリスク感性』（関西大学出版部，2023年）
『ファミリービジネスの事業承継と経営戦略』（編著）（関西大学出版部，2024年）

■イラスト

村上あかり 中塚登美子 亀井克之 朝陽このみ 上坂 朝